

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会 機関誌

第 **41** 号
2018年7月発行

BASEL



■ 発行責任者: 横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
■ 編集責任者: 広報担当理事
■ 連絡先: 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752
[事務局] 横浜ラポール スポーツ課内
Fax 045(475)2053 <http://basel-y.sakura.ne.jp>



目次

設立20周年に寄せるご挨拶	1
創立20周年特別企画.....	3
平成29年度三協議会及び障がい者スポーツinfo.2018参加報告 ...	4
ハマピック個人競技を終えて.....	5
会員の活動風景アルバム	6
20年のあゆみ.....	8
会員の活動・体験コーナー	10
役員の紹介.....	15
お知らせコーナー	16

設立20周年に寄せるご挨拶



ごあいさつ

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
会長 平井 晃

1998年、第34回全国身体障害者スポーツ大会「かながわ・ゆめ大会」開催を契機に当協議会は設立し、本年20周年を迎えることができました。これはひとえに諸先輩をはじめ、会員や多くの関係者の皆さまのご支援ご協力のお陰と心より感謝申し上げます。

さて、当協議会の活動は、ハマピック(全国障害者スポーツ大会の予選会)等横浜市との共働事業、その他障害者団体のスポーツ事業への支援等多岐にわたっています。また、種目別研修会を開催し、障がい者スポーツの幅広いニーズにこたえるための人材育成にも力を入れています。会員数も500人を超え大きな組織へと発展してきました。今後は、横浜市における障がい者スポーツの普及・発展のために努力を重ねてまいる所存です。関係者の皆様には変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いし、挨拶といたします。



お祝いの言葉

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
会長 鳥 原 光 憲

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会が設立20周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

平成10年3月の設立から、20年にわたり障がい者スポーツの普及・発展にご尽力いただきましたこと、また、この間の指導員、役員の皆様のご労苦に対し深く敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

貴会が設立された平成10年は、長野1998パラリンピック冬季競技大会が開催された年であります。その後、国内の障がい者スポーツが飛躍的に発展を遂げたことは皆さまご承知のとおりです。そのような中、貴会は障がい者が身近な場所でスポーツを気軽に行える環境を整えるため、横浜市や障害者スポーツ文化センター横浜ラポールなどと連携を図りながら、活動を進めてこられました。皆さまの活動により、障がい者スポーツ指導者の知名度も年々上がり、現在、約2万5千人にもものぼる指導者登録数となりました。スポーツの気運が高まってくる中、今後においても障がい者スポーツ指導者協議会の果たす役割は指導者の育成、活用、資質向上等において、ますます重要となってくるものと思います。

当協会といたしましても、東京2020パラリンピック競技大会の成功に向けて、現在、パラスポーツの認知度を高める活動を推進しているところです。このような活動を通して、インクルーシブな社会への変革を促し、当協会が目指している「活力ある共生社会の実現」に最大限努力を続けてまいります。

最後になりますが、これからの障がい者スポーツの普及と発展は、地域の障がい者スポーツの活性化がなくてはならないものであります。これまでの実績を踏まえ、横浜市障がい者スポーツ指導者協議会が今後益々発展されますことを祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会20周年記念誌の発行によせて

横浜市健康福祉局長 田中 博章



横浜市障がい者スポーツ指導者協議会が設立20周年を迎えられますことを、心からお喜び申し上げます。

皆様が長きにわたり、各地域での障害者スポーツ活動の支援やハマピックの運営にご尽力され、障害者スポーツの発展に大きく寄与していただいていることに、改めて深く敬意を表するとともに、心より感謝申し上げます。

東京2020パラリンピック競技大会に向け、市民の障害者スポーツへの関心は、ますます高まっています。多くの団体や企業などが障害者スポーツへの普及・啓発に取り組み始め、障害者スポーツに触れる機会も日に日に増してきました。この大きな機会を捉え、横浜市としても、平成31年度の開所に向け市内南部方面の障害者スポーツ文化活動の拠点となる「ラポール上大岡」を整備しています。また、障害者スポーツの更なる発展に向け、関係機関との連携を図りながら、支援策の充実に一層取り組んでまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

むすびになりましたが、「横浜市障がい者スポーツ指導者協議会」の今後ますますのご発展、会員、関係者の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞

社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール 館長 神山 篤



横浜市障がい者スポーツ指導者協議会設立20周年誠におめでとうございます。

日頃よりラポールの事業にご協力を賜りましてありがとうございます。

私がBASELのお名前を初めて耳にしたのは、設立間もない頃、職場の先輩であった藤極承三氏からでした。障害者スポーツの支援組織ができたと誇らしげにおっしゃっていました。

その時はよくわからないままでしたが、平成15年に市の障害福祉課長になってすぐにハマピック等でその活躍ぶりを実感しました。それ以来お世話になってきましたが、昨年4月ラポールの館長を拝命し、その活躍の舞台がハマピックをはじめフェスタ、記録会、障害者団体の運動会、ラポールの祭典、そして日常活動支援まで、年間を通じ、実に幅広いことがわかりました。

改めて障害者スポーツへの献身的なご努力に対して深く感謝申し上げ、敬意を表するとともに、2020東京パラリンピックを控え、ますますの貴会のご発展と会員の皆様の皆様のご活躍を祈念しております。

創立20周年特別企画

開催日:平成30年6月3日(日)

会場:障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

テーマ:横浜市障がい者スポーツ指導者協議会の未来 ～地域と密着した最先端の活動を～

話題提供者:横浜市健康福祉局 障害福祉部障害福祉課 地域活動支援係 日岐 高之氏

(公社)横浜市体育協会 スポーツ事務局 スポーツ事業部

インクルーシブ推進担当課長 谷 慎也氏

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール スポーツ課事業推進担当課長 田川 豪太氏

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会 副会長 北川 昇代氏

参加者:40名

今回の「創立20周年記念特別企画事業」では、横浜市健康福祉局、公益財団法人横浜市体育協会、横浜ラポール、BASELの各団体代表者から各々の団体の取り組みについて話題を提供していただきました。

冒頭でBASELの北川副会長から、創立から現在までの活動を振り返り、創立当時、横浜市→横浜ラポール



→BASELの一方通行だった活動が、現在は横浜市、横浜ラポール、BASELが相互に連帯した活動形態に変わりつつあること、さらにBASELと地域が密接に関わり合いながら障がい者スポーツの普及啓発活動の必要性について提案が有りました。

公益財団法人横浜市体育協会の谷氏からは、「観戦交流事業」「スポーツ交流事業」「イベント交流事業」「普及啓発事業」の4つの事業に加え、今後はパラアスリートの発掘から、パラリンピアン育成を新たな事業として考えているとのことでした。

横浜市健康福祉局の日岐氏から、障がい者スポーツに関して、これまで「地域での障害者スポーツ・レクリエーション活動の推進」「障害者と健常者がともに楽しめるインクルーシブスポーツの推進」「障害者スポーツ支援者の育成・活躍支援」「障害者スポーツに対する理解の促進」という4つの事業計画を掲げていましたが、横浜市スポーツ推進計画の中間見直しとして「障害者が幼児期から運動に親しめる環境の整備」を新規推進計画として加えたとの話がありました。

横浜ラポールの田川氏からは、ラポール開館から25年に渡って蓄積してきたノウハウと、BASELのサポート体制を基に、障がい者スポーツに協力的な組織と連帯しながら、2020年を通過点に、より一層市内における障がい児者のスポーツ環境の充実を目指したいと考えているということでした。

創立から現在まで、BASELは横浜ラポールを拠点に、依頼された行事にボランティアとして参加することを主な活動としていますが、近年BASELへ直接活動依頼をいただく機会も増えて来ました。これは20年間BASEL会員一人一人が出来る時に、出来る活動を地道に継続してきた成果だと言えるでしょう。



今回のテーマ「BASELの未来」は、「BASELの育ての親」とも言うべき横浜ラポールとタッグを組んだ活動を継続する事は勿論のこと、市内で活動する障がい者スポーツに協力的な組織・団体と連携しながら、障がい児者が身近な地域でスポーツに触れる機会をもち、生涯スポーツとして継続する為のサポーターとして活動していくことではないでしょうか。その為には、より多くの会員に活動していただく必要があります。早急に有効な広報手段を整えることがBASELとしての課題です。また、より安全に、的確にサポートするためには、障がいの理解やスポーツに関する知識・技術を身に付ける必要があります。これからもBASELでは様々な研修などの企画を継続して行きます。引き続き関係機関の皆様、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

平成29年度三協議会及び障がい者スポーツinfo.2018参加報告

主催：公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

日時：平成30年2月20日（火）・21日（水）

場所：ヒルトンホテル東京お台場

開会挨拶

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 常任理事 山田 登志夫氏

文部科学省 スポーツ庁 健康スポーツ課 障害者スポーツ振興室 黒沼 一郎氏

① 平成29年度事業報告（仮） 平成30年度事業計画（仮）

② 各専門委員会活動報告

③ 東京2020オリンピック・パラリンピックについて

「目標は二つ。全競技会場を満席にする事。金メダル獲得数で7位以内に入ること」

「目標を実現するために、具体的な方策を設け。全力で邁進する！」

日本パラリンピック委員会副委員長 高橋 秀文氏

④ 全国障害者スポーツ大会について

・全国障害者スポーツ大会愛媛大会報告では、台風の影響がある中、開会式を強行したのはいかなるものかと批判もあった。

・福井大会では初めて「国体と全スポ」を融合し名称とロゴを統一し、車いすバスケットボールと車いすテニスを国体期間中に実施する。

・全国障害者スポーツ大会における視覚障害区分の改正

・水泳競技のスタートにイングリッシュコールが導入される

・アーチェリー競技のリカーブ部門において年齢区分の撤廃

・競技名称の表記変更について（旧）車椅子バスケットボール→（新）車いすバスケットボール

・精神障害者の参加資格の整備 等

⑤ コンプライアンス・ガバナンスの重要性について

・カヌー選手の不正行為を始め、スポーツへの信頼を損なう様々な事象が起きていることに対し、些細な点にも注意を怠らないよう、改めて襟を正す必要が示されました。

⑥ 三者協議会協会団体登録について

障がい者スポーツinfo2018

テーマ「映像から見るパラアスリートの無限の可能性」

第1部：「WHO I AM」から森井大輝選手（アルペンスキー・座位）のドキュメンタリー

第2部：「1964東京パラリンピック」当時の記録映像

* 三協議会：障がい者スポーツ競技団体協議会・障がい者スポーツ協会協議会・障がい者スポーツ指導者協議会

参加者：協議会役員 田川豪太・柳瀬光一

ハマピック個人競技を終えて

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
スポーツ課 事業推進担当 徳山茉奈

第23回ハマピック個人競技、全6競技が無事終了いたしました。
今大会へのエントリー数は584名、初参加の選手が昨年度と比べ増加傾向が見られました。

今年度より、年齢区分・障害区分において以下のような変更がありました。
1つ目は、卓球・水泳・陸上競技において、視覚障害区分が改正されました。
視野は障害区分判定に含めず、「両眼の視力の和で判定」されます。
2つ目は、アーチェリー競技において年齢区分が撤廃となりました。
昨年度までは、「1部(39歳以下)」「2部(40歳以上)」と区分されていましたが、年齢での区分が撤廃され、性別での区分のみとなりました。

また、ボウリング競技は今年度より会場が変更となりました。昨年度まで使用していた会場は選手が普段の練習で使用していた場所でもあり、とても馴染みがありました。環境が変わり、選手にとって難しいレーンコンディションとなりましたが、落ち着いて試合に臨めていました。

ハマピック個人競技の中で最も参加数の多い陸上競技では、ベテランから初参加まで幅広い選手層となっていました。また、ハマピック新記録も数多く出ました。

全体を通して、若手の参加数が増加していると感じました。このような傾向が見られるのも、選手たちを指導・支援してくださる、先生・コーチ・ご家族の方々がいるからだと思います。

また、この大会運営に携わってくださる競技協会、学校、横浜市障がい者スポーツ指導者協議会の方々からの支えがあるからこそ、成り立っています。

ハマピックでの醍醐味は、選手の成長・活躍を見ることだけでなく、その周りの方々の支えがあることを改めて感じるのだと強く思いました。この場をお借りして、感謝申し上げます。

このハマピックで良い成績を収めた選手は、横浜市代表選手として選考され、10月におこなわれる全国障害者スポーツ大会に出場します。

引き続き、ご支援の程よろしくお願い致します。



大会マスコット「はぴりゅう」

会員の活動風景アルバム



フライングディスク



アーチェリー



ヨット



グラウンドゴルフ大会



ボート



ハマピック陸上



ポッチャ研修会



研修会



フェスタサッカー



フェスタボッチャ



浜身連運動会



ボウリング



ハマピックフライングディスク





機関誌	会員数	バセルの動き	種目別研修会
創刊号 第2号	277	横浜市身体障害者スポーツ指導者協議会 発足 初代会長:藤極 承三	
第3号	429	横浜市障害者スポーツ指導者協議会に改名 シンボルマーク決定	電動車椅子サッカー ショートテニス
第4号 第5号	464	役員改選	障害者フライングディスク ユニバーサルホッケー
第6号 第7号	492		ボッチャ 陸上競技(スラローム・障害急歩など)
第8号 第9号	516	役員改選 第2代会長:大久保 善司 横浜市社会福祉功労賞を受賞	軽スポーツ グラウンドゴルフ
第10号 第11号	540	スタッフジャンパー作成	スポーツコンディショニング つくるスポーツ
第12号 第13号	518	役員改選	ストレッチングとアイソメトリックトレーニング(理論と実践) サウンドテーブルテニス
第14号 第15号	543		障害者の水泳 グランドソフトボール
第16号 第17号	728	役員改選 横浜市心身障害児者を守る会より感謝状	ビームライフルの紹介 車椅子スラローム I・II 及び障害急歩の概要
第18号 第19号	704	横浜市リハビリテーション事業団より感謝状	グラウンドゴルフ審判養成講習会 ボッチャの紹介
第20号 第21号	745	創立10周年記念号 役員改選 第3代会長:平井 晃	ボールウォーキング ショートテニス
第22号 第23号	650		ジャベリックスロー フライングディスク
第24号 第25号	642	役員改選 ホームページ開設	わくわくスポーツ サウンドテーブルテニス
第26号 第27号	342		スポーツ吹矢 ローンボウルズ
第28号 第29号	326	役員改選 オリジナルTシャツ・ポロシャツ作成 横浜ラポールより表彰	フロアホッケー トレイル・オリエンテーリング
第30号 第31号	323		ボールウォーキング 車椅子バスケットボール
第32号 第33号	468	役員改選 「日本障がい者スポーツ協会」に定款内記載を変更	Strength&Conditioning とストレッチング 卓球
第34号 第35号	478		救急救命研修会 ボッチャ
第36号 第37号	497	オリジナルポロシャツ・ジャンパー作成 役員改選	グラウンドゴルフ グラウンドゴルフリーダー養成・ボッチャ審判養成
第38号 第39号	555	横浜市障がい者スポーツ指導者協議会に名称変更	様々な障がいの理解と対応 楽しく体を動かそう! 高校卒業後成人期グループ活動の取り組み 全スポ障害区分について～陸上競技編～ STT/50m 音源走・スラローム
第40号	570	オリジナルポロシャツ・ジャンパー作成 神奈川県体育功労者賞を受賞 役員改選	横浜市障がい者スポーツ指導者協議会の未来 ～地域と密着した最先端の活動を～



自主事業・協働事業・支援事業		国内及び世界の動き
1998年 (平成10年)		第34回全国身体障害者スポーツ大会「かながわ・ゆめ大会」
1999年 (平成11年)		第8回ゆうあいピックしまね大会 第35回全国身体障害者スポーツ大会「ハートフル・くまもと大会」
2000年 (平成12年)		第9回ゆうあいピック岐阜大会 第36回全国身体障害者スポーツ大会(富山県)
2001年 (平成13年)		第1回全スポ「翔く・新世紀みやぎ大会」 (全国身体障害者スポーツ大会とゆうあいピック全国大会が統合)
2002年 (平成14年)		INAS・FID サッカー世界選手権日本大会 第2回全スポ「よさこいピック高知」
2003年 (平成15年)	高齢者グラウンドゴルフ大会	第3回全スポ「静岡・わかふじ大会」
2004年 (平成16年)	障害者グラウンドゴルフ大会	第4回全スポ「埼玉・彩(さい)の国まごころ大会」
2005年 (平成17年)	障害者グラウンドゴルフ大会 関ブロ予選会ソフトボール【支援】	第5回全スポ「輝いて!おかやま大会」
2006年 (平成18年)	障害者グラウンドゴルフ横浜大会 関ブロ予選会バレーボール【支援】	第6回全スポ「のじぎく兵庫大会」
2007年 (平成19年)	関ブロ予選会サッカー【支援】	第7回全スポ「秋田わか杉大会」
2008年 (平成20年)	関ブロ予選会バスケット【支援】 障害者グラウンドゴルフ横浜大会	北京パラリンピック 第8回全スポ「チャレンジ!大分大会」
2009年 (平成21年)	関ブロ予選会バレーボール【支援】	2009国際アクセスディンギーレガッタ 第9回全スポ「ときめき新潟大会」 アダプテッドエアロビック(開港150周年記念障害者スポーツ文化事業) グラウンドゴルフ横浜みなとみらい大会(開港150周年)
2010年 (平成22年)	障害者グラウンドゴルフ横浜大会	バンクーバー冬季パラリンピック 第10回全スポ「ゆめ半島 千葉大会」
2011年 (平成23年)	駒岡ポートフェスタ【協働】 障害者グラウンドゴルフ横浜大会	第11回全スポ「おいでませ!山口大会」
2012年 (平成24年)	駒岡ポートフェスタ【協働】 障害者グラウンドゴルフ横浜大会	ロンドンパラリンピック 第12回全スポ「ぎふ清流大会」
2013年 (平成25年)	障害者グラウンドゴルフ横浜大会	第13回全スポ「スポーツ祭東京2013」
2014年 (平成26年)	障害者グラウンドゴルフ横浜大会(荒天中止)	ソチ冬季パラリンピック 第14回全スポ「長崎がんばらんば大会」
2015年 (平成27年)	障害者グラウンドゴルフ横浜大会	第15回全スポ「紀の国わかやま大会」
2016年 (平成28年)	関ブロ予選会バレーボール【支援】 障害者グラウンドゴルフ横浜大会	知的障がい者ボウリング大会 リオパラリンピック 第16回全スポ「希望郷いわて大会」
2017年 (平成29年)	関ブロ障がい者スポーツ指導員特別研修会 「コーチングに学ぶコミュニケーションスキル」 「これからの指導者の求められる役割」 関ブロ予選会ソフトボール【支援】	第17回全スポ「愛顔つなぐえひめ大会」 日本ろう者水泳選手権大会 横浜市リハビリテーション事業団創立30周年記念式典
2018年 (平成30年)	関ブロ予選会サッカー【支援】	平昌冬季パラリンピック

※関ブロ…関東ブロック 全スポ…全国障害者スポーツ大会

会員の活動・体験コーナー

《平成30年1月28日(日)スポーツフェスタ「ボウリングの日」 於:横浜ラポール》

広報

選手と顔なじみのボランティアさんばかり！30人ほどの選手は、午前と午後に別れてプレーを行いました。

バンパークラス・スロープクラス・オープンクラスそれぞれのクラスで楽しく一日を過ごしたようです。



《平成30年2月18日(日)スポーツフェスタ「ボッチャの日」 於:横浜ラポール》

会員 高橋 登

今までサッカー教室やサッカーチームのコーチとして活動して来ました。

ラポールの行事、大会等への参加は今年度からです。

ボッチャはその様な競技があるという程度でルール等何一つ知りませんでしたので、不安と興味が半々でした。しかし同じコートの方のバスケのスタッフに丁寧に教えていただき何とか審判もできました。

参加された皆さんも競技を楽しまれていましたし、戦術や駆け引きもあり審判をしながら自分も楽しませて頂きました。

空き時間にスタッフとゲームをして見ましたが、楽しくもあり奥深いですね。

パラスポーツとしても今後広く競技人口が増えるといいと思います。



《平成30年2月25日(日)スポーツフェスタ「ボウリングの日」 於:町田ボウリングセンター》

会員 藤郷 栄康

これまで競技会場であった港北とうきゅうボウルが昨年末で営業閉鎖となり、今回からJR町田駅の直ぐ近くでワンフロア全36レーンの広い空間を持つ町田ボウリングセンター(愛称マチボウ)が新会場となりました。

男子19名、女子5名、計24名の幅広い年齢層の参加者が2レーンずつのアメリカン方式で計2ゲームの熱戦を繰り広げ、午前中に滞りなく全プレーを終了しました。

レーンコンディションの見極めが難しいとの前評判にもかかわらず、男子優勝スコアの400点越えを筆頭に各レーンで好プレー・高スコアが続出しました。

ストライクやナイススパアでも派手な仕草は無く小さく拳を握る程度、それを周囲のプレイヤー全員が軽くタッチして祝福、この物静かで謙虚なマナーの応酬に間近で触れて、ボウリング愛好者同士の優しさと温かさを強く感じた爽やかな一日でした。



《平成30年3月3日(土)フライングディスク記録会 於:横浜ラポール》

広報

年2回行われる記録会。今回は審判として「かながわ障がい者フライングディスク協会」から4名、バセルから6名が加わり記録会競技役員を担当しました。記録会の参加者は34名でした。月2回行われているフライングディスクの時間に参加し練習している人たちが日頃の練習の成果を発揮する記録会。経験豊富な人や経験の浅い人それぞれに記録会を楽しんでいたと思います。今回の記録を参考にまた練習し次回の記録会に参加してくれることを楽しみにしています。

《平成30年3月18日(日)スポーツフェスタ「サッカーの日」 於:谷本公園》

会員 金沢 明子

3月中旬18日、暖かく天候にめぐまれ、サッカー(フットサル形式)4ブロック、4チームまたは5チームのリーグ戦が始まった。

開会式で、今までの中で最多の参加数と紹介されていた。私は初めての参加で、この大会の運営に数多くの人がかかわっているのを知った。

ルールも知らず、進行がスムーズに進むよう、ボール拾いに専念した。選手は若年層から、かなり幅広い層に広がっていて、障がいの程度や技術に差があったが、どのチームも一体となっている様子が見てとれ、これこそスポーツの素晴らしさなのだと実感した。なかには、ただ立っているだけの選手もいたが、チームが得点をあげると嬉しそうに笑顔になった。

出来る出来ないという事よりも一心にボールを追う姿は微笑ましいものがあった。

スポーツは運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、人々のつながりを深める。

人と人との絆を培うスポーツで、地域生活を豊かで味わい深いものに貢献している事業であると大変感心させられて、帰途につきました。



《平成30年4月8日(日)ハマピック「アーチェリー競技」 於:横浜ラポール》

会員 湯浅 鉄男

新年度のハマピックの始まりはアーチェリー競技です。

新しいTシャツとブルゾンに袖を通し、新しい気持ちでボランティアに参加しました。

今春は異例の温かさで、桜も早々と散ったというのに、朝のアーチェリー場はまだ冬のような寒さ。それでも的に次々と矢が放たれるにつれて、次第に静かな熱気が会場に広がります。

ボランティアの主な仕事は、的に刺さった矢の回収と得点の集計。事前に審判員より集計方法について説明があり、何とか理解に努めます。それでも慣れない得点の暗算は意外に手ごわく、間違えそうになって冷や汗をかかされました。

矢が放たれる音と矢が的に当たる音が交互に会場に響き、競技は粛々と進みます。昼休みを挟んで各選手はそれぞれ36射。

上位成績者にはメダルが授与されました。最後に審判長が「もっと練習して、上を目指しましょう」と選手を励まします。私自身ボランティアとしても「上を目指さねば」と思いながら帰路に就きました。



《平成30年4月8日(日)ハマピック「ボウリング競技」 於:町田ボウリングセンター》

会員 持丸 里香

今回のハマピック「ボウリング競技」会場は、港北とうきゅうボウルの閉館により、町田ボウリングセンターに変わりました。

選手もボランティアも会場に慣れない為か、初めは、落ち着かない状態でした。

選手の方々は、最初は、レーンの感覚が違いうようにいつものようにストライクやスペアが決まらなかったようですが、ストライクやスペアが取れ始めると「ヨッシャー」などの声を出したり、ガッツポーズをしたり、ハイタッチなどでうれしさを表現して、ゲームを盛り上げていました。

ボランティアの方も最初はぎこちなくても、ベテランの方が多かったので、すぐに役割分担の作業を始めました。

会場が変わったことにより、選手もボランティアも応募者が少し減ったそうですが、会場が変わっても、選手のボウリングに対する熱意とその選手を盛り上げるボランティアの気持ちは、変わらないと思いました。

《平成30年4月15日(日)ハマピック「卓球競技」・「サウンドテーブルテニス」 於:横浜ラポール》

会員 貞 陽子

平成30年4月15日、横浜ラポールメインアリーナにて第23回ハマピック「卓球競技」が開催。私共に初ボランティア依頼通知が届く。優勝者は、今年の全スポ代表選手選考を兼ねての大会。当日は「春の嵐」。選手の参加が危惧されるが、そんな心配をよそに参加者63名、並々ならぬ意気込みに感銘を受ける。

試合は8コートに振り分けられ移動。ゼッケンの確認・招集・試合後の成績用紙を本人に手渡し、が主な手伝い。選手の顔と氏名を覚えるのに時間を取るが選手の助けもあり乗り切る。感謝です。欠場者がいた為各コートで試合順の調整をエントリー表に記入し進行状況を把握する。時間と共に心にゆとりが出来て、選手と触れ合うことも。知人も多数出場、顔を見るだけで和んだ。尚この大会で貴重な体験をし、ボランティアの楽しさ等教えて貰った。次回も「一期一会のふれあい」の精神で参加したいと思う。



大会運営関係者・職員・東海大卓球部の皆様方お疲れさま。参加者全員にお礼申し上げます。

《平成30年4月22日(日)ハマピック「水泳競技」 於:横浜ラポール》

会員 宇津木 深雪

暖かさが増してきた四月の水泳大会。私事で地方に行っていたので、バセルには四年ぶりの参加です。

この大会は、市代表選考会を兼ねていて、責任重大。この日の私の役務は、記録証記入係でした。

午前は、25mの種目から。試合は次々と進んでゆくのですが、大会本部は大わらわでした。20分押した午前と異なり、午後の50mは、順調に……いや、プリンターのインクが切れてバタバタしたっけ…

終わってみれば18もの市新記録が生まれ、とてもレベルが高い試合だったようです。

その反面、失格した選手の記録証に「失格」と記入するのは、辛くもありました。そして、招集が掛かっても姿を見せなかった選手1名。彼は何処に行ってしまったのでしょうか？

バセルの先輩方や橘高校水泳部OGの皆様の御助力で、任務を全うすることができ、本当に有難うございました。ボランティアって楽しいよ♡

《平成30年4月29日(日)ハマピック「フライングディスク競技」 於:新横浜公園投てき練習場》

会員 橋本 哲夫



4月29日、初めてフライングディスク競技を体験させていただきました。兼ねてより是非やってみたいと思い、都のフライングディスク入門事業の指導補助者としての参加を試みていましたがなかなか実現せず、今回の競技会は他の活動ともバッティングしなかったのも、私にとってとても幸運な充実した1日になりました。

予備知識ゼロでの参加であり、審判補助として参加者の皆様や主催運営側の役に立てたのかは定かではありませんが、協会の皆様の適切なご指導により、何とかやり遂げられたかなと思っています。この1日で、フライングディスクがどのような競技であるかと、

審判や運営側の注意点等が少しですが解ったような気がします。当日は好天に恵まれましたが、荒天の場合にはとても大変な競技であることも合わせて理解出来ました。チャンスを作ってまた参加したいですね。

最後に、ディスク回収等の運動量は想定以上で驚きました！当日参加の選手及び関係者の皆様に感謝！

《平成30年5月6日(日)ハマピック「陸上競技」 於:三ツ沢公園陸上競技場》

会員 小金澤 光司

「ハマピックに初めて参加して」 5月6日(日)薫風駆ける三ツ沢公園陸上競技場を舞台に選手のべ340人と役員132人が集まり、第23回ハマピック陸上競技大会が開催された。

100m走や走り幅跳びのように通常陸上競技種目に加え、電動車椅子を用いたスラローム競技やハンドマイクを使用した音源走など本大会特有の競技種目が含まれていた。

参加することに意義がある大会の位置づけかと思っていたが、選手は各自の抱える障がいを見事に克服し、常日頃の弛まぬ練習の積み重ねが感じられるパフォーマンスを発揮されていたのには驚いた。小職は現役トラ(トライアスロン)アスリートを自負するが、1500m走などとてもついて行けそうもない高速レースであった。

また、競技審判をはじめとするスタッフ各位の動きも適格であり、23回の歴史を感じた。本競技大会を通じたパラスポーツの今後の普及発展を信じてやまない。

《平成30年5月19日(土)第18回全国障害者スポーツ大会サッカー競技関東ブロック地区予選会 於:綾瀬スポーツ公園多目的広場》

会員 大滝 寛子

午前中の雨予報を気にしながら、私にとって初めてのボランティア活動が始まりました。

会場である綾瀬スポーツ公園多目的広場は素晴らしく整備された人工芝のグラウンドで、そこでサッカーができる選手たちのワクワクが伝わってくるようで、私も精一杯のお手伝いができたという思いでした。

私自身、趣味としてサッカーを行っていることもあり、どのような試合が繰り広げられるのかとても楽しみでした。失礼ながら0対0の無得点で終わる試合も多いのかなと思っていましたが、毎試合複数得点をあげるレベルの高さに感動でした。さすが選ばれた各地区の選手たちのキレキレのプレー、その熱気が天にも伝わり、天気は好天となりました。

10月に開催される全国大会の出場権を獲得された東京都チームの皆さん、ぜひ思う存分力を発揮し、活躍して来て下さい！

楽しい一日をありがとうございました。



今回で35回目という長期に亘る横浜市心身障害児者を守る会連盟主催の運動会が三ツ沢補助陸上競技場で行われました。天気は運動会に適した良い日になり、我々ボランティアも参加選手に劣らず気分が高揚し張り切っていました。今年はボランティアが120数名となり担当業務に余裕が有り比較的自由に他部署のカバーに回ることが出来ました。ゲームは前年と同じ11種目でしたが、新種目の「ワールドロシア」としてデカパンを履きゼッケンをつけソフトバレーボールをシュー

トするゲームで楽しみました。バセルからのメンバーは、市旗掲揚、ラジオ体操模範演技、ふれあいリレーは館長と共に4名で奮闘し4位を獲得し、皆で場の雰囲気盛り上げました。

《障がい者のスポーツ紹介》

5月13日、世界トライアスロンシリーズ横浜大会・エイジパラトライアスロンが山下公園を中心に行われた。0.75kmの水泳、20kmの自転車、5kmのランニングを連続で行うパラオリンピックの種目にもある競技です。

ここに数年来、練習をサポートしてきたケイコ選手がマユミさんのガイドを得て、視覚障がい女子の部に出場して見事に優勝しました。それもトライアスロンデビュー戦での快挙でした。

視力・視野に区分2の障がいを持つケイコさん。徐々に進行する先天性の病を持ちながら『今できることにベストを尽くす』という生き方に強く心を打たれました。

これからもトライアスロン競技経験者として、また水泳指導員、陸上指導員の立場で私達も連携した支援を続けていく覚悟を新たにしました。



1位表彰台の右側ケイコさん
2位表彰台の左側は、2位の選手をガイドした宮浦さん

初級指導員 宮浦めぐみ・平山和幸

任意ボランティア団体39EnjoySwimmingの代表
クラブ紹介:一人娘の障害をきっかけに設立した水泳指導団体です。生涯スポーツでもある水泳は誰でも無理なく楽しめます。個々のレベルに合わせてマンツーマン対応も致します。私達と一緒にEnjoyしましょう!

宮浦さん

広範囲にわたる自身のスポーツ活動を活かしながらラポールでは、主に陸上競技に専念。
知的障害・視覚障害・全スポ帯同等々

平山さん

役員の紹介



① 河合 ② 北川 ③ 平井 ④ 金井塚 ⑤ 勝又 ⑥ 志摩 ⑦ 新役員:車地
⑧ 小島 ⑨ 後藤 ⑩ 田川 ⑪ 須藤 ⑫ 安室 ⑬ 松川 ⑭ 岩澤



新役員:持丸



新役員:西村

会 長：平井 晃
副 会 長：北川 昇代
事務局長：岩澤 英喜
事 務 局：志摩 初枝・持丸 里香
会 計：安室 茂美・松川 文博
広 報：河合 由美子・金井塚 かず子・車地 厚子・西村 うづき
研 修：後藤 貴久・小島 千尋・勝又 道雄
監 事：田川 豪太・須藤 昌平

新役員のご挨拶

今回理事になりました持丸と申します。

微力ではありますが、お役に立てればと思います。

少しでも多く方々に、障がい者スポーツへの興味・関心を持てるような機会や環境を整えて行きたいです。

よろしくお願い致します。

持丸 里香

はじめまして。西村と申します。障がい者スポーツとの関わりを志望して長い期間を得て、今このような役割を
いただけたことに大変喜ばしく思っております。これからよろしくお願いします。

西村 うづき

初めまして、車地と申します。微力ではございますがお手伝いさせて頂きたいと思ひます。

尚、このような役員は初めてのことでご迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、皆様どうぞ宜しくお願い
します。

車地 厚子

お知らせコーナー

*総会

平成30年6月3日(日)に行われました総会は、全ての議案が承認され無事終了いたしました。
有難うございました。

*研修会

【関東ブロック障がい者スポーツ指導者協議会 地域特別研修会】

講演日時:平成30年11月4日(日) 13時30分

場 所:障害者スポーツ文化センター横浜ラポール シアター

テ ー マ:『共生社会実現への道』

演 者:高橋 秀文氏 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会常務理事
日本パラリンピック委員会副委員長

高橋さんは、2月に行われた三協議会でも『2020東京オリンピック・パラリンピックについて』をテーマに講演され、参加した役員からの「ぜひ横浜で講演を」との依頼に快く応じてくださいました。
乞うご期待を。 **申込用紙を、同封致します。**

【関東ブロック研修会】

日 時:平成31年2月9日(土) 13:00～

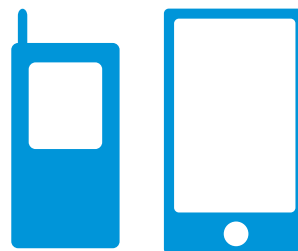
場 所:千葉市ハーモニープラザ内 <http://www.chp.or.jp/>

テーマ:未定

*メールアドレス登録の件

研修会・総会で会員の皆さまに地域から寄せられる「パラスポーツ指導・体験」の依頼情報を提供する手段としてメールの活用が有効と思われます。

情報配信を希望される方は、同封の「メールアドレス確認作業のお願い」をご覧になって必要事項をもれなく入力して返信して下さい。準備段階ではありますが、『最初の一步』です。QRコードを携帯で読みとるとアドレスを間違いなく入力出来ます。ご利用下さい。



touroku@basel-y.sakura.ne.jp



平成30年7月現在 会員数528名

*** 訃報**



大川 裕さん

平成14年役員に就任し事務局を担当。
3年前からは事務局長として活躍していました。



柳瀬 光一さん

平成25年役員に就任し、その笑顔と幅広い交流関係を活かし、研修・広報・事務局と活躍していました。



BASEL

B: Bay

A: Area

S: Sports

E: Enjoy

L: Life